株式会社クレディセゾン 御中

お 申 込 人 氏名(自署)

連帯債務予定者 氏名(自署)

契約に関する説明事項

私(お申込人および連帯債務予定者をいう。以下同じ。)は、下記について、住宅ローン(フラット35(保証型)、フラット35つなぎローンをいう。以下同じ。)の借入申込時に株式会社クレディセゾン(以下「貴社」という。)から説明を受け、了承しました。

- (1) 申込書に記入した融資希望額・返済期間・対象物件についての申し込みであること。
- (2) フラット35(保証型)は、プランおよび加入する団体信用生命保険の種類等に応じて異なる融資金利が適用されること。なお、返済が終了するまでの間に脱退年齢に達して団体信用生命保険から脱退する場合等、団体信用生命保険の保障が終了し、または保障内容に異動が生じた場合でも融資金利は変更されないこと。
- (3) クレディセゾンのフラット35は、フラット35S等の金利引下げメニューがあり、それぞれの金利引下げメニューごとに技術基準等の適用要件、金利引下げ期間および金利引下げ幅が異なること。また、複数の金利引下げメニューを利用する場合は、組み合わせによって適用される金利引下げ期間および金利引下げ幅が異なること。
- (4) 融資金利については、借入申込時の金利が適用されるのではなく、金銭消費貸借契約時(資金交付時)の金利が適用されること。
- (5) フラット35(保証型)の団体信用生命保険には、「一般団信」、「全疾病付団信」、「がん100」および「がん75」があり、そのいずれかを選択し、加入できること。また、加入後の変更はできないこと。なお、健康上の理由その他の事情で団体信用生命保険に加入できない場合は、死亡・身体障害状態等、私に万一のことがあっても団体信用生命保険の保障を受けることはできないこと。
- (6) 原則として、融資対象住宅について、利用する金利引下げメニューに応じた技術基準等に基づく物件検査を受け、適合証明書を貴社に提出すること。なお、物件検査費用は自己負担となり、適合証明機関により異なること。
- (7) フラット35(保証型)は、融資実行後、住宅ローン債権を信託会社等に信託すること。
- (8) フラット35(保証型)は、債権譲渡後も融資金利・返済期間等の融資条件は変わらないこと。
- (9) フラット35(保証型)の元利金の返済、返済期間中の管理業務は信託会社または住宅金融支援機構(以下「機構」という。)等からの委託により、貴社が行うこと。
- (10) フラット35(保証型)の元利金の返済方法の変更を希望する場合、貴社にて相談内容等の状況に応じて個別に対応するため、貴社へ問い合わせを行うこと。また、機構のホームページに掲載されているフラット35(買取型)における返済方法変更メニュー(https://www.flat35.com/user/henkou/hensai_komatta.html)と同じ対応ができない場合があること。
- (11) フラット35(保証型)を繰り上げて返済するときは、1ヵ月前までに貴社に申し出ること。また、一部を繰り上げて返済するときは、繰り上げて返済する額(元金)は10万円以上で、繰り上げて返済する日は毎月の返済日となること。
- (12) この住宅ローンは、私本人または親族が住む住宅の建設、購入または借換えの資金として利用するものであり、投資用物件(第三者に賃貸する目的の物件等)の取得資金としては利用できないこと。投資用物件の取得資金として利用した場合は、融資金全額を一括で返済することとなるので十分に注意すること。セカンドハウス取得の場合は、私本人がセカンドハウスとして使用している住宅の建設、購入または借換えの資金として利用するものであり、投資用物件(第三者に賃貸する目的の物件等)の取得資金としては利用できないこと。また、借入後いかなる事情があっても、融資対象住宅を自ら使用せずに第三者に使用させることはできないこと。融資対象住宅を自ら使用せずに第三者に使用させていることが判明した場合は、融資金全額を一括で返済することとなるので十分に注意すること。なお、返済中に、私本人が実際にセカンドハウスとして使用していることを書面、電話、現地調査等の方法により確認される場合があり、この確認においては私本人がセカンドハウスとして使用していることを証する書面の提出を求められる場合があること。
- (13) この住宅ローンの融資額は融資の対象となる所要資金額が上限であり、プランに応じて異なる融資金利が適用されるので、所要資金額および融資額は私が必ず確認すること。また、所要資金額または融資額に関する貴社への提出書類の内容に変更があった場合は、遅滞なく申し出る必要があること。万一、借入申込書の内容または貴社への提出書類の内容に虚偽があった場合は、融資金全額を一括で返済することとなるので十分に注意すること。
- (14) 借入申込時において、貴社に対して虚偽の事実を報告する等の不適正な方法により借入れを行った場合または機構の承諾を得ないで融資対象住宅を住宅以外の用途に使用した場合において、フラット35S等の金利引下げの適用を受けたときは、その金利引下げによる機構の損失の額または機構が得ることができなかった額を機構の損害とみなし、その損害の補償として、それらの額を請求されることとなるので十分に注意すること。
- (15) この住宅ローンを外国籍の方が申し込む場合は、通常の申込要件に加えて、「永住者」または「特別永住者」の資格が必要であること。万一、永住者または特別永住者の資格がなかったことが判明した場合は、融資金全額を一括で返済することとなるので十分に注意すること。
- (16) 所要資金には機構が定める住宅の建設、購入または借換えに伴う諸費用を含む事が可能であり、必要書類を提出することで、クレディセゾンのフラット35およびフラット35つなぎローンの融資実行時に融資を受けることができること。
- (17) 金銭消費貸借契約証書の収入印紙、抵当権の設定、変更または抹消に要する費用等は私の自己負担となること。
- (18) 本審査終了後、審査要件(私の勤め先、勤務形態、資金計画、融資対象不動産等)に変更が生じた場合には再審査となり、希望に添えない結果となる可能性があること。
- (19) 貴社に提出した申込書類一式は、理由の如何にかかわらず返却できないこと。
- (20) 氏名等にシステム上で表示できない文字が含まれる場合、略字もしくはカタカナで表記される場合があること。

以上